

震災を越えて神戸の酒徒達ここに集う

「宝地院」と「蛸の壺」健在なり

三条杜夫 フリーアナウンサー・放送作家



完成した宝地院で宝地院大学の面々と

震災で打ちのめされた神戸の街に、いち早くちようちんの灯をともした飲み屋があった。それが「蛸の壺」。

JR元町駅東を南に徒歩2分。近くの大丸神戸店もつぶれた。角の中華料理屋もつぶれた。そんな中で、実は「蛸の壺」もつぶれていた。だが、震度7の未曾有の激震に店を破壊されながらも、主の木村憲吾さんはつぶれた方の店を利用して、ガレキの街にポツンとちようちんに光を投げかけた。

「あの時、毎日毎日、会社でガレキの片付けをして吸い込まれるように蛸の壺に入って行きました。疲れた体にビールを流し込んで、今、自分は何をなすべきか、なんて考え、家路につ

いたものです」と常連さんの一人は語る。

いつまでも在籍していきたい
宝地院大学

平成9年1月半ば。兵庫区のお寺、宝地院に明るい笑い声の渦が満ち満ちていた。新しく建てられた会館の地下集会場。酒さかなを囲んで、どこかで見たような顔ぶれの面々がとめどなく話に花を咲かせていた。

画家の中西勝さんの顔もある。建築家の武田則明さんの顔もある。神戸の文化、実業、医学等各界でそれ相当の地位を築いて来たお歴々が文字通り一堂に会して酒盛りの最中なのだ。しばらく同席して耳を傾けて



中川浩安住職



喜寿を祝う昨年の忘年会で中西画伯作の肖像画完成

いると、今年の忘年会の内容をどうするのこうするのと相談しあっている。冗談じゃないぜ。新年会の相談ならわかる。年があけて間もないというのに何が忘年会の相談？　だが、待てよ。彼等は真剣にそのことを話し合っている。こういう人種なのだ。一クセも二クセもある御仁たちが集まった風変わりな集団――

それを「宝地院大学」と呼ぶ人もいる。文部省も、兵庫県も認めたわけではない宝地院大学。入学試験もなければ卒業試験もない。いや、ひとたび入学した人たちは決して卒業など望まないだろう不思議な宝地院大学。

学長の中川浩安センセは実は宝地院の住職だ。宝地院といえば、神戸市兵庫区のかつて平清盛が築いた雪の御所跡からさほど遠くない立地条件にあるが、平家と縁の深い寺として僕は神戸市営有線テレビ・こうベケーブルビジョンの特別番組「平家残照」のロケで訪ねたことがある。その時浩安上人にインタビュもさせてもらったが、今回、大学の学長としてお会いした浩安センセは、その時は違つて実にさばけたお人柄であることを発見して、いささかのとまど

いすら覚えたほど。

ところで、この大学に入学を志す者たちが、一体なにをきつかけに集つたのかと取材を進めるうちに、そもその発端は「蛸の壺」にあることを知つて、異質の飲み屋と寺との接点がようやく納得いくこととなつたらしい。

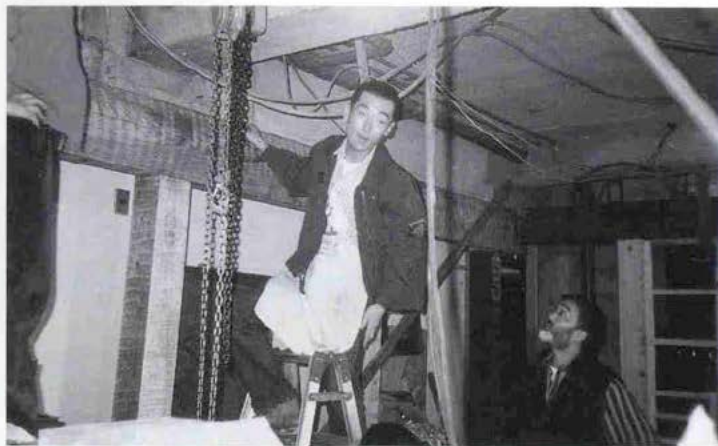
文化人たちのお祝いの会

戦後の混乱がようやく落ち着きを見せ始めようとしていたころ、昭和29年頃、国鉄元町駅の南の小路を下がったところに一軒のたこやき屋があつた。「蛸の壺」といつた。ある時ふらりと入つてきた上品な紳士、兵庫県知事の阪本勝さんだつた。忙しい公務に身を置く彼が、いたくその親しみやすい雰囲気を感じに入つた。文人でもあつた阪本さんはやら筆を取つて壁にさらさらと即興の一句を書き記した。

知事やめて 蛸になりたや

壺の蛸

それを聞いた画家の中西勝さんが「うん、これはいいアイデアだ。落書き壁を作ろう。」黒い柱の間に和紙を貼つて、あつ



蛸の壺の二代目木村光也さんと再建を頑張る



ファンが集って手づくりで...

という間に作られた落書き壁。以後、店を訪れる人たちが我々こそはと落書きをし、年末には和紙がびっしりと字で埋め尽くされる結果となった。いつしか蛸の壺は神戸の文化を愛する人たちが集る。神戸のへそ」となった。

あるクリスマスの夜、中西さんが突如提案した。「この店の常連さんで忘年会やったら面白いやろうな」主の木村さんが答える。「年末やから会場がないやろ」。そこでハタと思いついたのが宝地院。「でんわ急げ」という訳でさっそくダイヤルすると「30日ならよい」と一発で決まり。昭和35年のことだった。せっかく風流人というか風変わり人、つまり変人が集るのだ。いっそ忘年会をお祝いの会にしてしまえということになった。「何かお祝い」とはありまへんか? ということでいろいろなお祝い事があたりに会場に張り出された。江戸川乱歩賞・陳舜臣、孫誕生、二階から落ちて無傷、洋行から無事帰国…。そんな中で、中西勝・咲子結婚式まで登場した。中西夫妻は10年前に結婚しながら、実はまだ式を挙げてなかったのだ。会が始まると突然「ただ今より中西勝・

咲子結婚式を行います」と口上があり、本堂仏壇前の襖がしずしずと開いた。金欄の袈裟をまとった浩安和尚はじめ二人のお坊さんが香を炊き鐘を打って、おごそかに仏前結婚式が始まった。和尚はおもむろにお釈迦様と魔耶夫人の講話をし、紅白のカーネーションを一つの壺の中に一緒に挿すように命じた。蛸の壺の木村さんが祝辞を述べる。「今どき質屋に入れても三か月で流れる世の中に10年もブツを流さずにおいて、忘年会に利用して結婚式を行うとは誠に見上げた根性!」その原稿は急遽、織田正吉さんが作った。甲南カメラの西村雅司さんが百枚を超える記念写真を撮した。被写体となった新郎新婦は、女性が木綿紬、男性が黒いセーター。そのセーターの肘が抜けて穴が開いていた。そんな時代だった。

心のふるさととしての役割を

平成7年1月17日の兵庫県南部地震。死者6300人、被害総額10兆円という阪神・淡路大震災で宝地院大学も本堂を全壊、蛸の壺も鯉川筋を少し東に入って地下にあった店が全壊と



新装になった蛸の壺で一献をかたむける三条さん。左二人目は木村憲吾さん

いう世間並みの大きな被害をこうむった。宝地院は武田さんが大いにハッスルして立派な本堂を再建、再び大学の存在を世に鼓舞することとなった。

一方、蛸の壺は松本剛太郎さんの協力を得て手作りで店を再建することとなった。地下の店を少し西に行ったところに、今度は一階に新しい店をオープンさせることとなった。

「昭和24年から数年間、宝地院に住まわせてもらって、そこから夢野台高校に通った」と思い出を語るのは神戸地下株式会社専務取締役の安岡利美さん。「私も庫裏の2階に居候させてもらった」と、ひかり幼児教育研究所代表の清水一郎さん。

宝地院とは思いがけないところで、思いがけない人を育てて不思議な寺だ。育てあげられた人たちが都会のオアシスとして人生の旅の疲れをいやし、新たな第一歩に向けて意欲を燃やす前進基地としての役目も果たしている蛸の壺と共に、これからも神戸をこよなく愛する酒徒たちにとって心のふるさととしての役割りを演じ続けることだろう。

連載小説 第4回
ブルー・ランデヴー

木村光達
・森澤理夫
絵



パンゲアは両側に高い木の生えた砂利道に面していた。店の周囲には小さな森と言ってもいいような大きな庭を持った屋敷が建ち並んでいた。高い木々に囲まれた「パンゲア」自体、古びた木製の看板がかかっているなければ、画家のアトリエのようにしか見えなかった。門を入ると芝生を敷き詰めた庭が玄関先まで続いていた。

田中氏は緊張の面持ちで二人の後に続いた。鈴木はどうしてこんなにすごい店を知っているのだらうと田中氏は思った。この店、きつとんでもなく高いんだらうな。定期預金を解約して軍資金は財布におさまっているけれど、それで足りるだらうか。屋台のラーメンや大衆食堂で親子丼というわけにはいかないにしても、何もこんなハイソなところに来なくてもいいのに。まったく分不相応だ。

玄関のドアのところまでくると、クローズドと書かれた木の札がノブのところに無造作に吊り下げてあった。良かった、これじゃ無理だなど、田中氏が考えた時、鈴木がジーンズのポケットから鍵を取り出した。

「え？　ここ、おまえの家？」

田中氏は驚いて尋ねた。

「まさか」

鈴木は馬鹿にしたような目で田中氏を見た。

「こんな家の住人だったら、わざわざあんなボロ会社に勤めてるわけないだろ。へこへこき使われてスズメの涙のサラリーなんだよ。金があれば、あんな会社にいるわけないだろ。そんな時間の無駄遣いだよ」

「だったら、どうして鍵なんか」

「ああ、これ？　盗んだのさ」

「ほんとに？」

「嘘だよ。そんなマジな顔すんなよ。俺が盗みなんかするわけないだろ。借りてきたんだよ、ここの持ち主に。そいつ、俺の知り合いなんだ。な、サキ。いや、前島さん、おまえも知ってるだろ、不動産屋の大崎。あいつがこっけってんだ」

「へえ、金持ちの知り合い持ってたんだ」と、田中氏は言った。

「そんなに感心することないさ。ただの成り金野郎なんだから」と、蔑むような口調で鈴木が言った。

鈴木とサキの後に続いて田中氏はおそろおそろの中に入った。玄関のホールは吹き抜けで、高い天井には天窓が切られ、そこから澄み切った青空がのぞいていた。右手のドアを開くと、リビングルームのようなゆつたりとした空間が広がっていた。室内は壁も天井も床も落ち着いた色の木材で作られ、部屋の隅に置かれた田中氏の身長ほどもある柱時計が、静かに時を刻んでいた。

「ずいぶんりっぱな建物だな。ここ、ほんとにレストランなの？」と、田中氏が尋ねた。

「まあ、住居兼メンバー専用クラブってところかな。税金対策でやってるんだ」

鈴木は面倒臭そうに答えた。

「時々来てるのか」

「たまにな」

鈴木はカウンターの中にはいると、壁のスイッチを押した。照明が入り天井に据え付けられた旧式の大きな扇風機がゆつくりと回り始めた。

「ちよつと成り金趣味やけど、なかなかお洒落やね。それとも、お洒落やけど、ちよつと成り金趣味なんか」と、サキが言った。

「もともととては画家の家だったんだ。アブストラクトが専門の。一昨年から、あの震災の後で、大崎が買取したんだ。それから所々手が加わったから」

そう言うと、鈴木は幾何学模様で低木を刈り込んだ西洋庭園に面したテーブルに座るように、二人を促した。

「不動産のほか、真珠の貿易でもいいやになるほど儲けてるんだ、ここのオーナー」

「羨ましいな。少し分けてくれてもいいのに」と、田中氏が言った。

「あたしたちのほかには客は誰もいないの？」
サキが言った。

「たぶんね。夕方にならないとオープンしないから。それも気が向いた時間だけだ。それと、この店の二階と裏の離れが住居になって、オーナーが隠れ家に使ってるんだ。女房に内緒で若い女を連れ込むためにさ。ワルだからあいつ。たいていの女はこのゴージャスな雰囲気にならされてしまうんだ」

「女ってそんなに単純やないわよ」とサキが言った。
「そうかな？」

「悟郎もここをそんな風に使ってるんでしょ」
「まさか……俺はそんなにワルじゃないよ。謹厳実直そのものだ。な、田中、そうだろう」

田中氏は「ああ」とだけぶっきらぼうにこたえた。答えもそうだったが、田中氏の気持ち自体、頗る不機嫌になっていた。なんといっても、今の自分のポジションが不愉快だった。どう考えても、目の前の女性とデートしているようには思えなかった。むしろ、鈴木とサキのデートの場に第三者の自分が立ち会っているようにしか思えなかった。

「ほら、この人真面目やから返答に困ってるやない。あんたが謹厳実直やなんて賛成できるわけないもんね」

「この人じゃなくて、田中孝介さん。ちゃんと固有名詞、使えよ」

「じゃあ、田中さん、あんたのこと庇ってるみたいよ。あんたのことやから、ほんまはここで他の女と悪いことばかりしてるんでしょ」

「俺のことはいいよ。それより、田中はね、俺みたいなインチキセールスマンと違って、ちゃんとパソコンに向かつて日がな一日まっとうに仕事してるんだ。ええと……係長補佐さんだったかな」

「いいよ、ただの経理マンで」

「だけど、俺みたいな歩合制の社員と違ってきちんきちんと固定した月給を貰ってるんだ。な、そうだろう」

「少ないけど」

「へえ……悟郎と違って、安定した生活してはるんやね」と、サキが言った。

「まあ、安定と言えば、安定だけど、その分、退屈と言えは退屈だよ」

そんな風に言うと、田中氏はジーンズの前ポケットから、くしゃくしゃになったハイライトを取り出した。

「吸っていいかな」と、田中氏は二人にきいた。

「どうぞ」と、鈴木が言った。

「へえ……タバコを吸いはるの。それって勇気があるでしょ。毒やし、多数派じゃなくなつたでしよ、最近の統計や」と、サキが言った。

「そうかな。臆曲がりだから、体に悪いって言われると、かえって吸いたくなってくるんだ」

自分だけがタバコを吸うことで二人よりわずかに優位に立てたように田中氏は感じた。彼は意識してゆつくりと煙を吐き出した。

「あんたの吸いはるの見てたら、ものすごくおいしそうやわ。あたし、もう一度始めようかな。十八の時にやめたんやけど」

「やめたほうがいいよ」

「どうして？ 自分だって吸うてるのに」

「いいんだよ、僕は」

「そうやろか」

「それより何か飲まないか。ここにはなんでも揃ってるよ」一枚板で作られたカウンター越しに鈴木が言った。

「それやったら、あたしがなんかつくってあげる。水商売は慣れてるから」

サキが椅子から立ち上がって言った。

「じゃあ、お願いしようかな。棚のボトルならどれ使ってもいいことになってるから」

サキと交代でカウンターの外に出てくると「どう？ あの子なかなかいいだろ。気に入った？」と、鈴木が小さな

声で田中氏にきいた。

「悪くはないけど」

「けど、なに？」

「俺には若すぎるよ」

「何言ってるんだよ。俺達まだ花の三十代だよ。まだまだ若いよ。それと、彼女、ひどいファザコンなんだ。だから、年寄り好みなんだよ。それに……あっちの面、若いくせして、いろいろと経験豊富なんだ。だから……おまえも教えてもらえばいいよ。おまえは何も知らなさすぎるよ。まったくの箱入りオジサンなんだから。早く結婚していろいろ楽しいこと教えてもらうんだな」

「結婚だなんて、簡単に言うなよ」

「いいんだよ。縁のものなんだから」

「でも彼女、ほんとはおまえの事好きなんだろ？ そんな感じがするよ」

「いいじゃないか、そんなこと」

「よくないよ」

「結婚するならおまえがいいに決まってるじゃないか」

「どうして？」

「安全バイだよ、安全バイ。俺はもうバツ2だし。サキは結婚に憧れてるけど、俺、結婚には完璧に向いてないし」

「言われるほど安全バイじゃないよ」

「おまえが？ よく言うよ。おまえが安全じゃなけりや世の中の人間のすべてが危険人物ってことになるじゃないか」

「さっき彼女のこと経験豊富って、あれはどういう？」

「あれか、あれはな」

鈴木が言いかけた時、サキがトレイにバーボンのボトルとグラスをのせてテーブルにやってきた。

「良かったかしら、これで？」と、鈴木に向かって彼女は言った。

「いいよ。こいつ、アルコールならなんでもいけるくちだもの」

「ほんと？」サキが田中氏を見た。「そんな風には見えないけど」

「嘘ですよ。そんなこと」

田中氏は慌てて否定した。彼は少し飲んだだけで、すぐに顔が真っ赤になるタイプだった。しかも、それだけではすまなくて、限界を超えるところでもつい裸になってしまふ癖があるのだ。そのことを田中氏自身よく自覚していて、最近では抑制につく抑制を重ねていたから、全裸の振る舞いを知っているのは、古い付き合いの人間、つまりは鈴木しかいなかった。

「じゃあ、とりあえず乾杯するか」と、鈴木が言った。

「何に？」と、サキが聞いた。

「そうだな……きみたちの出会いに」

鈴木のその言葉を受けて、田中氏はちらりとサキの様子を窺った。彼女の表情には何の変化もなかった。

《以下次号》



K.F.S. NEWS 173

神戸ファッション市民大学OBによるグループ
神戸のファッション都市化をめざす

事務局／神戸市中央区下山手通3-1-18
ツインストアビル4F 月刊神戸っ子内
TEL.078-331-2246

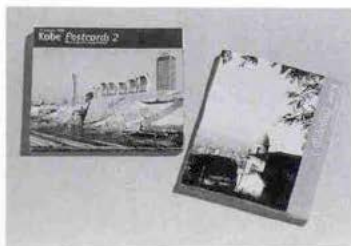
K.F.S.会員米田定蔵『神戸・ポストカードブック ～記憶から記録へ』出版 好評発売中！

本誌月刊神戸っ子はもちろん、K.F.S.の活動風景の撮影を担当している会員の米田定蔵氏が、阪神淡路大震災の前後に撮影した神戸の風景写真を集め、2冊の文庫型ポストカード集として出版した。1963年に長田区に写真スタジオをオープンして以来、神戸の風景、特に異人館や旧居留地などの洋風建築にこだわり撮影を続けてきた米田氏。震災発生時には、直後からカメラを抱えて被災地を奔走し、現在も復旧過程を撮影する毎日が続く。「構造物が地殻のエネルギーに逆襲されたまちを、克明に、精密に記録しておくこと。それが私にできるただ一つのことです」

た。記憶は薄れるためにあるのですが、記録は人を謙虚に生きさせるためにあると思えるのです」との想いが今回の発売に。種類は2タイプ。震災前（昭和39年～平成6年の30年間）に撮影した作品をまとめた“Kobel”には、モダン寺、海岸ビル、旧布引市電車庫、うろこの家など神戸らしいエキゾチックな風景が収録されている。“Kobe2”は、17 January 1995 「異形の町 克明に」というタイトルで、震災発生当日に撮影した写真がメイン。生田神社の大鳥居や旧居留地15番館など無残に崩壊した様子がありありと写し出されている。どちらも26枚つづりで1冊1165円。1枚でも購入可能。神戸地区販売先…東急ハンズ三宮店、ナガサワ文具センター本店、キディランド三宮店&センター街店、星電社三宮本店&さんちか店&ハーバーランド店、コープ神戸シーア、丸善神戸元町店。

■問い合わせ先／米田フォト
神戸市長田区池田寺町11-10
TEL078-691-3547

●2月マンスリーのご案内
春プライダルシーズンをひかえて
『冠婚葬祭のマナーについて』
講師／大谷晃世さん
(株)オータニ徳風社
2月21日(金) 18:30～
ホテルニュータニ神戸



●1月17日(金) 19時より
「三宮甲羅本店」にて
K.F.S.新年会が開かれました。
かに三昧のごちそうに舌鼓をうちながら、今年度活動への意気込みもパワーUPする楽しいひとときでした。

愛読者のためのコミュニケーションサロン



神戸っ子倶楽部新会員 継続会員ご案内

■神戸っ子倶楽部では、ただ今会員を募集しています。会員の方には「月刊神戸っ子」を1年分お届けします。また、神戸っ子倶楽部の会報として、「月刊神戸っ子」の誌面上に、「神戸っ子倶楽部ニュース」を毎月掲載、会員の動きなど様々な情報を提供します。さらに年2回、文化性の高いイベント（コンサート、美術展、演劇など）に特別割引または無料でご招待いたします。年会費（入会金を含む）は1万円です。

神戸を愛する人たちのカルチャークラブ「神戸っ子倶楽部」。あなたもご入会になって豊かな神戸っ子ライフをお楽しみになりませんか。

会員の方は有効期限をお確かめのうえ、継続会員として年会費をお納めください。

□入会申し込み・お問い合わせは…

〒650 神戸市中央区下山手通3丁目1-18ツインズト
アビル4F 有限会社月刊神戸っ子まで
TEL: 078-331-2246 FAX: 078-331-2795

月刊神戸っ子創刊36周年記念パーティ

神戸っ子祭り

と き／1997年4月22日（火）18時より約2時間30分

ところ／ホテルオークラ神戸「平安の間」

（ホテルオークラ神戸TEL: 078-333-0111）

会 費／お一人様20,000円（椅子席）

プログラム 1、月刊神戸っ子創刊36周年記念式典

2、第26回ブルーメール賞・第7回神戸っ子賞発表

3、神戸っ子祭り／テーマ「明日に架ける橋」

ゲストミュージシャンによる歌とトークショー

●お申し込み・お問い合わせ

月刊神戸っ子〒650 神戸市中央区下山手通3丁目1-18ツインズトアビル4F
TEL078-331-2246 FAX078-331-2795

神戸っ子通信

●神戸文化復興基金

震災で被災した芸術関係者への支援や、美術、音楽などの創造発表活動への助成、また工事現場での壁画の作成や、震災記録作品の制作発表活動への支援などを行う「アート・エイド・神戸」の活動を支える基金（委員長＝伊勢田史郎氏）を次の口座で受け付けている。○さくら銀行栄町支店 神戸文化復興基金 普通預金 3615811 問い合わせは事務局・海文堂ギャラリーTEL: 078-331-2467へ



●あしなが学生募金

震災遭難者の進学を支援する同学生募金。集まった募金は全額、災害、病気、病氣遭難らへの奨学金貸与を行う「あしなが育英会」

へ寄付される。募金は郵便振替で受け付けている。口座「あしなが育英会震災遭難見口」00100・1・171252

●異人館修復支援へ基金

大震災で被害を受けた神戸・北野の異人館修復など。神戸の顔として魅力を伝え続けてきた街を住民自身の手で守るため、地元の「北野・山本地区をまもり、そだてる会」が支援金を募っている。募金は郵便振替で受け付けている。口座「北野・山本地区をまもり、そだてる会」01160・1・60707 問い合わせは同会会長浅木さん方TEL: 078-242-6288へ

●神戸復興支援義援会

神戸商工会議所WE LOVE KOBE 元気復興委員会などの後援で、神戸有名店メーカーのご協力を仰ぎ、復興支援のため神戸の銘品をバックにした義援金を全国各地で販売している。詰め合わせは3,000円・5,000円・10,000円の3種類。問い合わせは事務局・月刊神戸っ子TEL: 078-331-2246へ

天麩羅屋

メーザ・エスタシオン

一九九七年新春十五日開店

この度、岡本の閑静な地に

天麩羅 (ポルトガル語 TEMPERO)

メーザ・エスタシオン (ポルトガル語 季節の食卓)

を開店することになりました。

名前の如く季節の旬の食材にこだわ

り土くさい野菜に湯衣を着せて

食卓に供したいと思ひます。

外観はスマートな開放しの建物

中は洋風? 料理は天麩羅

はたしてこの3つがミスマッチの妙を得るかどうか。

私も楽しみにしております。

尚、店内はゆとりと寛いで戴くことと

私の料理が及ぶ間を考えた結果

カウンター席となりました。(5名様位の個室1部屋あり)

なお前日迄の予約制で、失礼ですが小さなお子様は

御遠慮申し上げます。

「山形や裕久」同様、こだわってやるつもりです。

新春15日に開店いたしました。

よろしくひいきの程、お願い致します。



オープンのお客様 若柳吉金吾ご夫妻
旬の山菜うっすい女であげたところがヘルシーで日本の季節を感じます。
ご主人の眼にかかったインテリアや器に囲まれてリッチなひとときでした。



山菜を主体にしたヘルシー天麩羅
お一人様 ¥8,500



第一・第二・第三

mesa estacion

メーザ・エスタシオン

営業時間/PM5:00~PM10:00 定休日/水曜日

〒658神戸市東灘区岡本4丁目5-1 TEL.078-411-0302

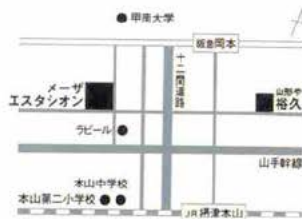
山形や 裕久

〒658神戸市東灘区本山北町3丁目11-7 TEL.078-452-9636



株式会社フジヤ 大阪支店

FUJIYA 「フジヤは、空間創造企業です」



※お席が空いておれば、当日でも2~3名様承ります。

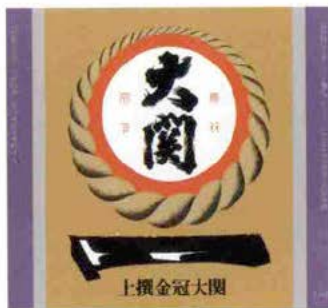
THE FACES OF SAKE

元気に！酒

灘五郷は健在なり



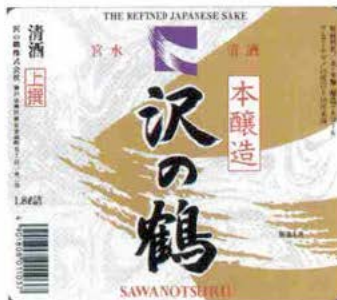
白鷹株式会社
西宮市浜町 1-1
TEL0798-33-0001



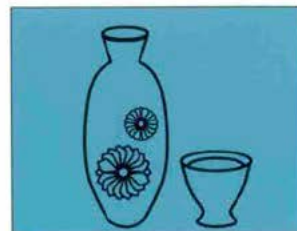
大関株式会社
西宮市今津出在家町 4-9
TEL0798-32-2111



白鶴酒造株式会社
神戸市東灘区住吉南町 4-5-5
TEL078-822-8903



沢の鶴株式会社
神戸市東灘区新在家南町 5-1-2
TEL078-881-1234

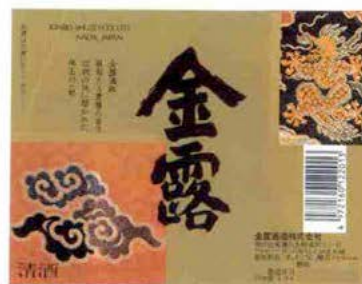




富久娘酒造株式会社
神戸市灘区新在家南町 3-2-28
TEL078-802-7800



福徳長酒類株式会社
神戸市灘区新在家南町 4-8-1
TEL078-861-3702



金露酒造株式会社
神戸市東灘区魚崎南町 5-5-47
TEL078-431-1635



忠勇株式会社
神戸市灘区新在家南町 4-1-1
TEL078-882-0001



菊正宗酒造株式会社
神戸市東灘区御影本町 1-7-15
TEL078-851-0001



櫻正宗株式会社
神戸市東灘区魚崎南町 5-10-1
TEL078-411-2101



お可川

北野の高台にあるてんぶら専門の割烹料亭。西日本屈指のてんぶら職人だった先代・岡川隆一さんの味を引き継ぐべく三代目・岡川伸久さんが腕を磨いている。しゃぶしゃぶや魚すきなど鍋ものを囲んでの宴会も楽しい。

神戸市中央区北野町1-5-10
11:00~22:00 第1/第3火休
TEL078-222-3511

酒徒と出会う店

元気に！酒 神戸の酒処・味処



山菜料理 るくだん

「家庭では味わえない料理屋の味を」とご主人の山田さん。店で一番人気はきのこやゆかりむぎを使った「山菜御前」(2500円)。丹波の銘酒「小鼓」を楽しんだ後は美容と健康にいい「蕎麦粥」(800円)が身体を温めてくれる。

神戸市中央区東川崎町1-6-1
モザイク1F
11:00~22:00 無休
TEL078-360-8476



出石城下町うまいもの館 千人代官

出石の城下町を意識した代官屋敷風の外観。ひきたて、打ちたて、ゆがきたての出石そば、但馬牛のしゃぶしゃぶ、冬はカニスキ。吟醸酒に串焼きと但馬の美味百珍が堪能できる。会食・宴会にも最適な座敷もある。

神戸市中央区三宮町7-1-1
日本生命三宮駅前ビルB1F
11:00~21:00
TEL078-232-3355



浜野商事株式会社 鰻 鮓 蔵

気軽に座敷に上がれる雰囲気と、期待を裏切らない味でちょっとしたビジネスランチにも最適と評判。キャリア40年のご主人の自慢の松前寿司と小鯛の雀寿司はまさに絶品。

昼定食1500円〜
ちゃんこ鍋セット4000円

神戸市中央区中町通23-1
チサンホテル1F
11:30~14:00/17:00~22:00
日曜定休(ご予約の場合は承ります)TEL078-371-3150



酒房 灘

地元、灘の銘酒を9種類に加え生酒、にごり酒、しぼりたて等充実の品揃え。人気のおでん、焼鳥、季節の一品料理も味わえる。アットホームな雰囲気でお酒をたのしむのに最高の場所。

上撰正合 ¥380、焼鳥 ¥240〜おでん ¥100〜

神戸市中央区三宮町さんちカレストランモール10:15~22:00 第3水曜休
TEL078-391-5559
さんプラザビルB1
TEL078-391-1541



だるま
蔵

「昔の場所で昔の名前で出ています」とご主人。再開後も以前と変わらぬ店構えと味で、ご主人とふたりの美人のお嬢さんが迎えてくれる。素材の良さを十分に生かしたおでんと旨い地酒が揃っていて、店内はいつでもあったか。

神戸市中央区北長狭通1-21-2
サンメイビルB1F
17:00 ~ 23:00 日祝休
TEL 078-392-7321



まめお

かつおだしのきいたおでんは創業以来の味。熱帯をやりながら、ご主人・大川宏さんとの話もはずむ。和気あいあいとした雰囲気。常連さんから若い女性まで安心して楽しめる。お昼の定食（おでん、魚の煮付）は800円とお得。

神戸市中央区三宮町1-9-1
三宮センタープラザB1F
11:30 ~ 13:00 16:00 ~ 21:00
日・第3月曜休
TEL 078-331-7815



スナック

南天

「お客さんとの出会いが楽しくて」と、ママの横田知佳さん。宇宙飛行士の毛利さんや向井さんも訪れた楽しい店で、語るもよし、歌うもよし。良心的な値段でゆったりとくつろげる。「難を転じて南天」。ママのそんな言葉が印象的だ。

神戸市中央区中山手通1-1-1
ロンロンビル3F
17:00 ~ 1:00 無休
TEL 078-332-6668

酒徒と出会う店

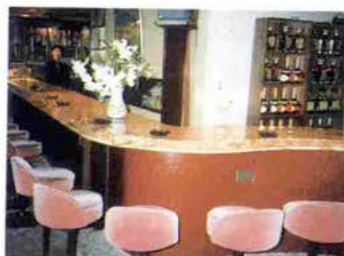
元気に！酒
神戸の酒処・味処



大島

和服がよく似合う大島裕子ママが、創業34年の暖簾を守る。観音さまのような笑顔とさりげない気配りが酒を、層々くする。しゃぶしゃぶ、魚ちり、おでん、一級の味を引き立てるのは、大関の酒。常連客を引き付け止まない店だ。

神戸市中央区中山手通1-26-1
バックスビル5F
17:00 ~ 24:00 日祝休
TEL 078-251-5552



OLD KOBÉ

創業27年。閑静な住宅街に旧き良きコウベがある。ママの村上道子さんがデザインした大理石のカウンターがおしゃれ。ゆったりと流れる時間が心地よく、遠方から訪れるお客さんも多いのうなずける。35名までの貸切パーティーも可。

神戸市中央区山本通4-2-13
ニューコウベマンション1F
（神港学園裏100m）
18:00 ~ 1:00 日祝休
TEL 078-221-1404



メンバーズ 醍醐

しっとりとした和風美人の
島田実恵さんが迎えてくれる。家庭的な雰囲気。ゴージャスなカウンター。ステージと和洋折衷の内装は異彩を放つ。しゃぶしゃぶなどの季節の鍋料理を食べながら飲む酒もうまい。食べて歌えて心満足できる。

神戸市中央区加納町4-9-29
パシフィックアトラス神戸ビル2F
18:00～24:00 日祝休
TEL 078-391-4345

酒徒と出会う店

元気に！酒
神戸の酒処・味処



やわら 鶴駅前店

二鶴食品

三宮駅高架下でうまい鮎を食べるならここ。新鮮なネタとうまい酒。手頃な値段がうれしい。ゆったりできる座敷もあり。大小宴会も受け付けている。

おまかせコース3900円/5000円
(付出・お造り・にぎり・蒸焼魚・ビール中1・酒1)

神戸市中央区北長狭通1-31-1
16:00～23:00 日曜休
TEL 078-331-0856



昨年12月に2日に震災前から少し位置をずらし、リニューアルオープンした寿司・割烹店。昭和35年の創業以来、味にうるさい魚通も黙りこんでしまうほどと、口コミのファンが多数。3月までは、とらふぐや寒ブリのにぎりがお勧め。

神戸市中央区下山手通2-14
16:30～24:00 日祝休
TEL 078-391-1128

加茂川



やわら 鶴東門店

二鶴食品

東門店は東門街を上りつめたところ。新鮮なネタを板前さんが握ってくれる。活気ある店内で食べて飲んだ後は、おみやげどうぞ。

やわら巻 1000円
松前ずし 1500円
蒸あなご握り1ヶ 250円

神戸市中央区中山手通1-17-11
18:00～2:00 日曜休
TEL 078-321-3612



ロビー天井の大神計がまず目をひく。日本人が牛肉を食べるようになった明治時代、文明開花調のレトロな趣あふれる店。しゃぶしゃぶ、すき焼きなどさまざまなに神戸牛を堪能できる。

神戸市中央区加納町4-7-23
12:00～21:00 無休
TEL 078-321-0555

名物 しゃぶしゃぶ
どけいや

KOBEうまいもん&ドリンクング

●日本料理

料亭	北野異人坂
ラウンジ	神戸市中央区北野町2-9-22 078 (222) 2001
ビジョウ	吾 作
	神戸市中央区元町通2-7-20 078 (321) 0539
季節茶屋	一輪一房
	神戸市中央区三宮町1-8-1-058 078 (331) 2280
天ぷら	天ふじ
鉄板焼	神戸市中央区下山手通2-11-24大信ビル1F 078 (392) 3630
寿司	又 平
	神戸市東灘区西岡本2-7-3オーキッドコート右第3館1F 078 (453) 1877
串焼 焼鳥	トリドリ
	神戸市中央区北長狭通2-5-1 078 (391) 3028
名代	あこや亭
	神戸市中央区旗塚通7-1-1 078 (232) 2400
日本料理	澤 村
	神戸市中央区加納町4-8-19 078 (332) 2210
山菜料理と 精進の店	ろくだん
	神戸市中央区東川崎町1-6-1 078 (360) 8476
かに料理	西村屋三宮店
	神戸市中央区磯上通7-1-20 078 (232) 3663
たじま牛と 懐石	西村屋たじま路
	神戸市中央区磯上通7-1-20 078 (291) 0246
出石城下町 うまいもの館	千人代官
	神戸市中央区小野柄通7-1-1 日本生命三宮ビルB1F 078 (232) 3355
鍋懐石	西村屋熊内茶寮
	神戸市中央区熊内町1-8-23 グランドス熱内B1-B3F 078 (231) 6767
地酒と和食の店	暮六亭
	神戸市中央区磯辺通3-2-17ワールド三宮ビル10F 078 (222) 9062
京割烹	花こうべ
	神戸市中央区北長狭通2-1-1パール山腰ビル7F 078 (331) 8373
居酒屋割烹	ちゃらんぽらん
	神戸市中央区相生町4-2-3 078 (361) 1519

日本料理	花隈 成駒家
お食事処	本社・本店 神戸市中央区花隈町23-21 078 (341) 5302 キザン店 神戸市中央区中町通2-3-1 078 (371) 3150

●各国料理

ステーキ	五 事
	中央区元町通3-14-1 078 (332) 3301
西洋料理	レストラン ソネ
	神戸市神戸市中央区中山手通1-24-10 078 (221) 2055
イタリア料理	リストランテ ベルゲン
	神戸市中央区山本通2-3-2 078 (241) 6952
メキシコ料理	ティファーナ
	神戸市中央区中山手通1-21-13 078 (242) 0043
ステーキハウス	グリル 青山
	神戸市中央区下山手通2-14-5 078 (391) 4858
ステーキ	六 段
	神戸市中央区元町通3-8-4 078 (331) 2108
ドイツ居酒屋	ローテ・ローゼ
Weinstube	神戸市中央区北野町4-9-14 078 (222) 3200
韓国宮廷料理	百 濟
	神戸市中央区下山手通3-1-9コスモビル1F 078 (392) 5458
ステーキ	和 黒 (わっこく)
	神戸市中央区中山手通1-24-1ヒルサイドテラス1F 078 (222) 0678
シシクロ料理	ぶはら
スィスレストラン	神戸市中央区三宮町2-2-2杉本ビル2F 078 (331) 1734
すていんハウス	長 崎
	神戸市中央区布引町2-3-16 078 (221) 1086
ブラジル料理	コパ・カバーナ
	神戸市中央区中山手通2-1-13ニューサンコービルB1 078 (391) 0888
北京料理	神仙閣
	神戸市中央区下山手通2-13-1 078 (331) 1263
カフェ& トラットリア	木 馬
	神戸市中央区下山手通3-1-9コスモビルB1 078 (391) 2505
欧風料理	もん
	神戸市中央区北長狭通2-12-12(生田前) 078 (331) 0372-0373
広東料理	中国酒家
	トアロード店 神戸市中央区北長狭通3-12-1 078 (391) 5537 元 町 店 神戸市中央区北長狭通3-8-1 078 (332) 5585

レストラン	パトリー
	神戸市中央区二宮町4-20-5 (ホテルビエナ神戸2F) 078 (272) 1313
ビアレストラン	ニューミュンヘン
	神戸大使館 神戸市中央区三宮町2-5-18 078 (391) 3656 神戸大使館別館 神戸市中央区中山手通3-1-19ホテルトアロード地階 078 (332) 1222
イタリア料理	TANTO TANTO
	神戸市中央区港島中町6-8-1ワールド本社ビル1F 078 (302) 5300
ステーキ	伊 藤
	神戸市中央区磯上通8丁目そごうウイング6F 078 (232) 3031
レストラン	ハイウェイ
	神戸市中央区下山手通2-13-7東昌ビル4F 078 (331) 7622
北京料理	龍 鳳
	神戸市中央区中山手通4-10-25 078 (222) 3715
広東料理	神戸元町別館牡丹園
	神戸市中央区元町通1-11-3 078 (331) 5790-6611

●喫茶・菓子

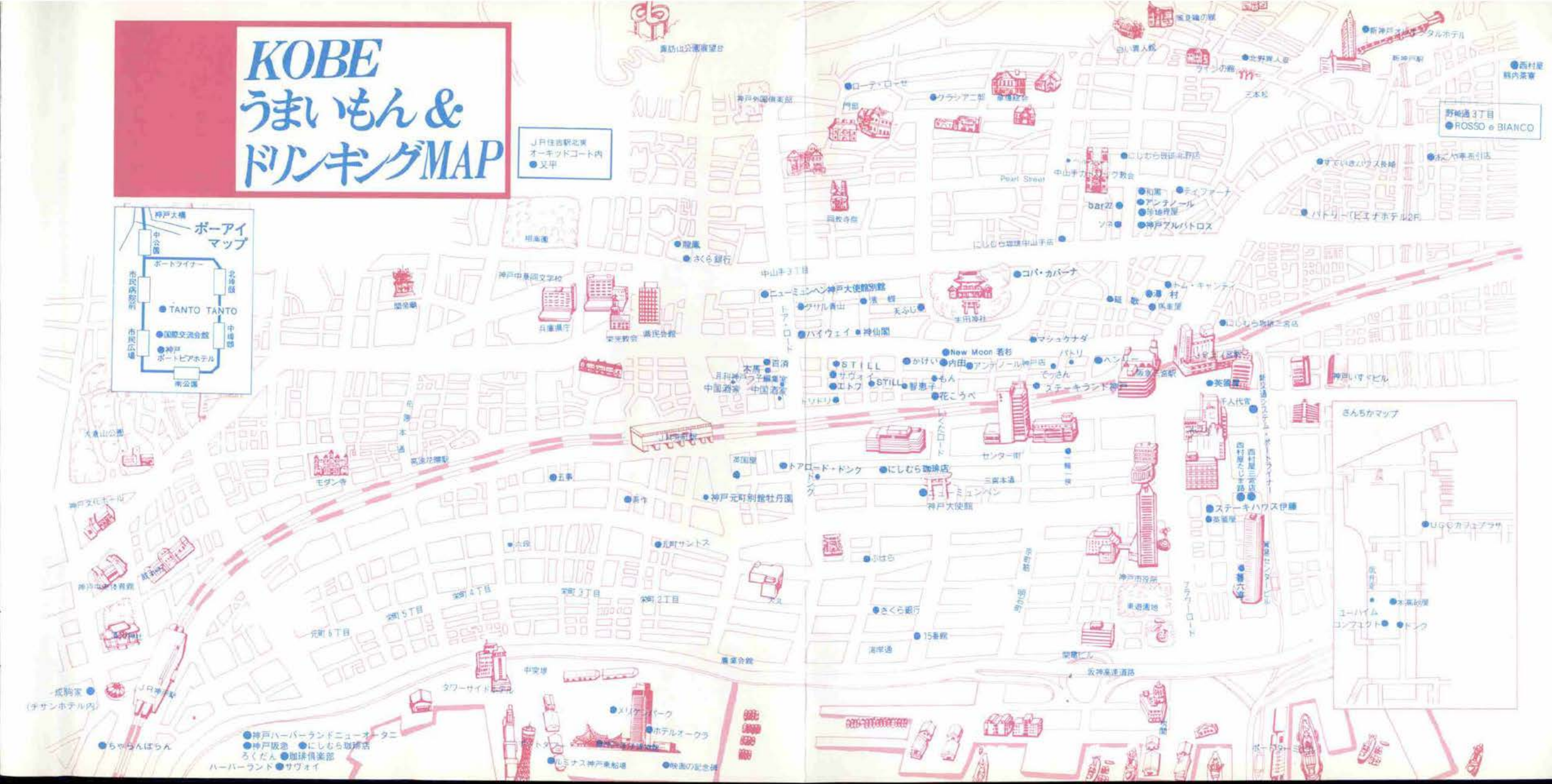
フランス菓子	トアロード・ドンク
喫茶	神戸市中央区三宮町3-8-14 078 (391) 5485
ケーキ	アンテノール
喫茶	北野本店 神戸市中央区中山手通1-22-13 078 (242) 3797 神戸店 神戸市中央区北長狭通1-10-6 078 (331) 8640
純喫茶	元町サントス
	神戸市中央区元町通2-3-12 078 (331) 1079
宮水のコーヒー	にしむら珈琲店
	中山手店 神戸市中央区中山手通1-26-3 078 (221) 1872 三宮店 JR三宮駅山側 078 (241) 2777 センター街店 神戸市中央区三宮町10-27 078 (391) 0669 北野坂店 山本通2-1-20 078 (242) 2467 阪急前店 三宮東口山側 078 (332) 5727 ハーバーランド店 078 (360) 1803
喫茶	英國屋
	センター街店 センター街3丁目 078 (391) 9006 三宮店 国際会館東浜側 078 (251) 4562 オーパ店 三宮オーパ3F 078 (291) 2036 ダイエー店 ダイエー三宮駅前店9F 078 (291) 8295
珈琲専門店	珈琲倶楽部
	神戸市中央区東川崎町1-6-1 神戸ハーバーランドMOSAIC (モザイク) 1F 078 (360) 0151
フランス菓子	菓子 s パトリー
	神戸市中央区北長狭通1-3-10 078 (393) 0222

●STAND&SNACK

演歌スタジオ	延 歌
	神戸のター坊の店 神戸市中央区中山手通1-9-24カオカビルBF 078 (332) 5755
カクテルラウンジ	サヴォイ
	モザイク店 神戸市中央区東川崎町1-6-1モザイク1F 078 (360) 2545 三宮店 神戸市中央区北長狭通2-5-17サンセット21ビル3F 078 (331) 2615
スナック	珍地理屋
	神戸市中央区中山手通1-22-10象ビル1F 078 (242) 0288
ジャズラウンジ	神戸アルバトロス
	神戸市中央区中山手通1-22-10象ビル 078 (231) 3300
サロン	マッシュケナダ
	神戸市中央区中山手通1-4-6ユーパールビル4F 078 (331) 5587
カクテルバー	馬車屋
	神戸市中央区加納町4-9-29パシフィックアトラズ神戸ビル3F 078 (331) 6814
スナック	STILL
喫茶	神戸市中央区下山手通2-4-13第1高山ビル4F 078 (332) 5758 神戸市中央区北長狭通2-9-4 1F 078 (332) 7973
シャンソン	エトワ
	神戸市中央区北長狭通2-5-17サンセット21ビル5F 078 (231) 3326
バー	トム・キャンティ
	神戸市中央区加納町4-9-17朝田ビル1F 078 (331) 2122
バー	バー 22 北野坂
	神戸市中央区中山手通1-23-10モンシエーターコートビルB1 078 (222) 6623
スナック	智恵子
	神戸市中央区北長狭通2-11-5 グランドコーストビル2F202 078 (332) 3856
スタンド	濱 蝶
	神戸市中央区北長狭通1-20-9 館ビル1F 078 (331) 2566
ラウンジ	内 田
	神戸市中央区下山手通2-1-13 第13シャルマンビル6F 078 (391) 3866
ラウンジ	New Moon 若杉
	神戸市中央区下山手通2-1-13 第13シャルマンビルB1 078 (331) 9534
ベティシアター	かけい
	神戸市中央区下山手通2-1-13 078 (332) 2239
バー	ヘンリー
	神戸市中央区北長狭通1-3-11ノアールビルB1 078 (391) 2689

KOBE
うまいもん &
ドリンクMAP

●又平



KOBEライトアップコンクール'96

神戸ルミナリエ開催期間中（平成8年12月12日（木）～25日（木）、神戸都市部一帯をクリスマスモードで装飾し、夜の賑わいを演出するため、都心地域内の商業施設ならびに主要事業所にショーウィンドー、街路樹、アーケード、建物などの照明に工夫を凝らしていただくように要請するとともに、優秀なポイントを顕彰し、ライトアップの指針となるような施設や店舗を選出することを目的として、「KOBEライトアップコンクール'96」を開催いたしました。

これには、23施設、41店舗の計64件の応募が寄せられ、現地審査を含む厳正な審査ならびに一般の投票の結果、下記の各賞が決定いたしましたのでお知らせいたします。

【施設部門】

グランプリ モザイクガーデン(大観覧車)

審査のコメント：神戸の新しいシンボルとして、ハーバーランド・モザイク南の

ウォーターフロントにそびえ立つ観覧車「WONDER WHEEL」。一般の来街者による人気投票で、大きな支持を得てグランプリに輝いた。いくつもの色を放ちながら勇壮に回転する姿は、震災後の神戸の夜景に新しいインパクトとして広く親しまれ、輝かしい未来を映しだしているかのようである。



【店舗部門】

グランプリ ハンティングワールド神戸店(旧居留地)

審査のコメント：思わずクリスマスプレゼントを買いたくなるような、夢のあるショーウィンドー。商品に対する照明は、冬をイメージした暖色系であたたかい雰囲気が漂う。また、ショーウィンドーから店内の商品が見える構造で、ライトアップの役割も大変効果的である。店舗は少し暗めの街の中にながら、アットホームな光の誘いで来街者をあたたかく迎え入れる。



コンクール実施概要

主催 (財)阪神・淡路産業復興推進機構、神戸都市商業活性化PR委員会、(財)神戸国際観光協会、神戸都心商業青年協議会、WE LOVE KOBE元気復興委員会

●審査委員会●

審査委員長 瀧川 博司(神戸都市商業活性化PR委員会)
同副委員長 梶見 和孝(関西照明技術普及会神戸地区運営委員会委員長、神戸大学教授、工学博士)

同特別委員 新谷 琇紀(彫刻家)

同特別委員 玉岡かおる(作家)